

参考積算条件書（その１）

（首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事）

令和８年９月

東日本高速道路株式会社 関東支社

【注意事項】

- （１）参考積算条件書は、入札（見積）参加者が見積作成する際の参考資料であり、契約書第１条に規定する設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- （２）本資料に掲載の内容についての質問・問合せには一切応じられない。
- （３）本資料に掲載の材料価格掲載予定項目について変更する場合がある。
- （４）本資料の全部又は一部を閲覧者が複製、転載、電子媒体等へ入力し、また、それらを第三者に譲渡、販売、配布することを禁止する。
- （５）本資料を基にした公表資料の二次的著作物の作成を禁止する。

1.材料価格掲載予定項目

①生コンクリート

名称	道路名	I C 区間 (〇〇地区)	単位	単価 (円)
A1-5	首都圏中央 連絡自動車道	松尾横芝 I C ～山武 成東 I C	m3	—
		山武成東 I C ～東金 J C T	m3	—
		東金 J C T ～東金 I C	m3	—

②その他

名称	規格・仕様	単位	価格 (円)	備考
落橋防止構造 P3-1243(250)	連結ケーブル 設計地震力 (1 本当り) 1,243kN 設計移動量 250mm ケーブル長 BG1 桁 3,734mm (ナット、止めプレート、スプリング、ユニバーサル用緩衝 具、偏向具、保護キャップを含む)	本		
	連結ケーブル 設計地震力 (1 本当り) 1,243kN 設計移動量 250mm ケーブル長 BG1 桁 3,716mm (ナット、止めプレート、スプリング、ユニバーサル用緩衝 具、偏向具、保護キャップを含む)	本		
落橋防止構造 P3-1591(300)	連結ケーブル 設計地震力 (1 本当り) 1,591kN 設計移動量 300mm ケーブル長 2,731mm (ナット、止めプレート、スプリング、ユニバーサル用緩衝 具、偏向具、鋼製キャップ、取付ボルト・U ナットを 含む)	本		
落橋防止構造 P3-1600(300)	連結ケーブル 設計地震力 (1 本当り) 1,600kN 設計移動量 300mm ケーブル長 3,886mm (ナット、止めプレート、スプリング、ユニバーサル用緩衝	本		

	具、偏向具、鋼製キャップ、取付ボルト・Uナットを含む)			
落橋防止構造 P3-1936(250)	連結ケーブル 設計地震力 (1 本当り) 1,936kN 設計移動量 250mm ケーブル長 G2 桁 3,985mm (ナット、止めプレート、スプリング、ユニバーサル用緩衝具、偏向具、保護キャップを含む)	本		
	連結ケーブル 設計地震力 (1 本当り) 1,936kN 設計移動量 250mm ケーブル長 G6 桁 3,986mm (ナット、止めプレート、スプリング、ユニバーサル用緩衝具、偏向具、保護キャップを含む)	本		
落橋防止構造 P3-2721(250)	連結ケーブル 設計地震力 (1 本当り) 2,721kN 設計移動量 250mm ケーブル長 G1R 桁 6,308mm (ナット、止めプレート、スプリング、ユニバーサル用緩衝具、偏向具、保護キャップを含む)	本		
	連結ケーブル 設計地震力 (1 本当り) 2,721kN 設計移動量 250mm ケーブル長 G1L 桁 6,460mm (ナット、止めプレート、スプリング、ユニバーサル用緩衝具、偏向具、保護キャップを含む)	本		
落橋防止構造 鋼製ブラケット	アンカーボルト D32×580	本	—	
	アンカーボルト D35×625	本	—	
	アンカーボルト D35×665	本	—	
	アンカーボルト D35×680	本	—	
	アンカーボルト D38×675	本	—	
	アンカーボルト D38×730	本	—	
	アンカーボルト D38×735	本	—	
	アンカーボルト D38×740	本	—	
	アンカーボルト D38×840	本	—	
	アンカーボルト D41×725	本	—	
	アンカーボルト D41×730	本	—	
	アンカーボルト D41×760	本	—	

	アンカーボルトD41×765	本	—	
	アンカーボルトD41×770	本	—	
	アンカーボルトD41×775	本	—	
	アンカーボルトD41×860	本	—	
	アンカーボルトD41×980	本	—	
	アンカーボルトD51×895	本	—	
	アンカーボルトD51×915	本	—	
	アンカーボルトD51×970	本	—	
	ナット（1種）M30	個	—	
	ナット（1種）M33	個	—	
	ナット（1種）M36	個	—	
	ナット（1種）M39	個	—	
	ナット（1種）M48	個	—	
	ナット（3種）M30	個	—	
	ナット（3種）M33	個	—	
	ナット（3種）M36	個	—	
	ナット（3種）M39	個	—	
	ナット（3種）M48	個	—	
	ワッシャーM30	枚	—	
	ワッシャーM33	枚	—	
	ワッシャーM36	枚	—	
	ワッシャーM39	枚	—	
	ワッシャーM48	枚	—	
横変位拘束構造	アンカーボルトD35×630	本	—	
	アンカーボルトD51×735	本	—	
	アンカーボルトD51×900	本	—	
	アンカーボルトD51×905	本	—	
	ナット（1種）M33	個	—	
	ナット（1種）M48	個	—	
	ナット（3種）M33	個	—	
	ナット（3種）M48	個	—	
	ワッシャーM33	枚	—	
	ワッシャーM48	枚	—	

2.間接工事費補正区分

項 目	内 容		
適用工種	橋梁保全（修繕）		
共通仮設費 現場管理費	施工地域補正	補正あり【一般交通影響あり（１）】	
		補正あり【一般交通影響あり（２）】	
		補正あり【市街地（ＤＩＤ地区）】	
		補正なし	○
現場環境改善費	市街地（ＤＩＤ地区）		
	市街地（ＤＩＤ地区）以外		○
	計上しない		
一般管理費等	契約保証補正	補正あり	○
		補正なし	

3. 見積活用方式を活用した工事における当社採用単価

参考積算条件書（その１）では掲載対象外

4. 土木工事積算基準および単価の適用年月等

項目	内容
土木工事積算基準適用年月	令和８年度版
単価ファイル適用年月	令和９年３月
物価資料等適用年月	令和９年３月
建設機械等損料表適用年度	令和８年度版